

国家戦略特別区域農業支援外国人受入事業
 <H30.6.27 ワーキンググループヒアリング後検討資料>
 ～ 1 専修学校が農業大学校と遜色ないか否かの比較～

H30.9.26
WGヒアリング
資料

シラバス掲載の履修時間比較

項目	A農業系専門学校	A農業大学校 【園芸経営科】	A農業大学校 【稲作経営科】
全体履修時間 (選択科目含む)	1480時間※1	2070時間※2	2070時間※2
上記のうち「農作業に従事した実務経験」の習得として必要と思われる 科目の履修時間	1386.6時間	1496.3時間	1473.8時間

◆A農業大学校【園芸経営科】との比較 △109.7時間(92.7%)

◆A農業大学校【稲作経営科】との比較 △ 87.2時間(94.1%)

- ・詳細は別紙参考資料①のとおり。
- ・上記時間は、1時間＝60分に換算したもの。また、いずれも2年間での履修時間。

※1:A農業系専門学校の1単位時間＝50分

A農業系専門学校シラバス掲載時間合計1776時間×50分÷60分＝1480時間

※2:A農業大学校の1単位時間＝45分

A農業大学校シラバス掲載合計時間2760時間×45分÷60分＝2070時間

国家戦略特別区域農業支援外国人受入事業
 <H30.6.27 ワーキンググループヒアリング後検討資料>
 ～ 2 専修学校が4年生大学と遜色ないか否かの比較～

H30.9.26
 WGヒアリング
 資料

シラバス掲載の履修時間比較

項目	A農業系専門学校	A国立大学【農学部】	A私立農業系大学
全体履修時間 (選択科目含む)	1480時間※ ¹	1602時間※ ³	1665時間※ ⁴
上記のうち「農作業に従事した実務経験」の習得として必要と思われる科目の履修時間	1386.6時間	1230.8時間	1170.0時間

◆A国立大学【農学部】との比較 +155.8時間(112.7%)

◆A私立農業系大学との比較 +216.6時間(118.5%)

・詳細は別紙参考資料①のとおり。

・上記時間は、1時間＝60分に換算したもの。

※1:A農業系専門学校の1単位時間＝50分 A専門学校シラバス掲載時間合計1776時間×50分÷60分＝1480時(2年間)
 【再掲】

※3:A国立大学の1単位時間＝45分

A国立大学シラバスに記載の卒業に必要な時間2136時間×45分÷60分＝1602時間(4年間)

※4:A私立農業系大学学校の1単位時間＝45分

A私立農業系大学シラバスに記載の卒業に必要な時間2220時間×45分÷60分＝1665時間(4年間)

(1) 授業時間数は遜色なし

◆ 専門学校の履修時間は4年制大学の履修時間を2年間で上回る。

(「農作業に従事した実務経験」の習得として必要と思われる科目の履修時間の比較)

- ・A農業系専門学校:A農業大学校 92.7%(園芸経営科)、94.1%(稲作経営科)
- ・A農業系専門学校:A国立大学(農学部) 112.7%
- ・A農業系専門学校:A私立農業系大学 118.5%

(2) 試験による能力の担保

◆ 専門学校の卒業に加え、試験の可否により能力評価が可能。

「民間団体が実施する試験」の合格者を外国人農業支援人材とする。

- ◆ 報道記事によると、法務省は「クールジャパン戦略」に関連する分野の
専門学校卒業生に在留資格を与える方針を決めたとの報道あり。

対象とする専門学校

◆ 新潟市内の農業系専門学校

- ・学校教育法第124条で規定の専修学校（学校法人が運営）
- ・さらに、職業実践専門課程※5の認定を受けている学校。

※5: 職業実践専門課程

◆専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程（平成25年8月30日文科科学省告示第133号）第1条で規定。

第一条 この規程は、学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第二百二十四条に規定する専修学校の同法第二百二十五条第一項に規定する専門課程（以下「専修学校専門課程」という。）であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うもの（以下「職業実践専門課程」という。）を文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とする。

◆認定要件：「全課程の修了に必要な総授業時間数が**1700単位時間**以上であること」など。

専修学校設置基準で規定の
単位時間より**100単位時間多い**